

《愛知県議会 会議録より》

2017.10.12：平成 29 年議員定数等調査特別委員会

【下奥奈歩委員】

共産党の基本的な考え方を申し上げる。まず、総定数については、多くの県民の切実な声を反映できるように総定数は削減することなく、現在の総定数 102 を維持することを基本とすべきである。

次に、選挙区の在り方についてである。多くの県民の切実な声を反映できるようにするためには 1 人区をできる限り解消していくことが求められる。

次に、各選挙区の定数配分についてのうち、投票価値の較差の是正についてである。法の下での平等、投票価値の平等という観点から、較差は可能な限り最小限にすべきであり、2 倍未満とすべきである。

次に、公職選挙法第 15 条第 8 項ただし書の適用についてである。原則どおり、人口に比例して、条例で定めるべきであり、ただし書の適用は行うべきではない。

最後に、逆転現象の取扱いについてである。法の下での平等、投票価値の平等という観点から、逆転現象はなくすべきである。